

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	歴史的建造物等保存等経費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 山本 尚子			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-2 難病対策、ハンセン病対策、エイズ対策を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条」に基づき、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する正しい知識の普及啓発及び名誉回復に必要な措置を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ハンセン病に対する隔離政策の歴史において、栗生楽泉園に重監房が設置されたことを紹介するなど、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する普及啓発事業の一環として、「重監房再現・展示施設」を建設する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算			49	228	360
		補正予算					
		繰越し等			△ 47	47	
		計			2	275	360
	執行額			1			
執行率 (%)			50.0				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	成果目標を示すことは困難。本事業は、法律に基づき普及啓発及び名誉回復に必要な施設を整備するものであるため。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	活動指標を示すことは困難。本事業は、法律に基づき普及啓発及び名誉回復に必要な施設を整備するものであるため。	活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—
					( — )	( — )	( — )
単位当たりコスト	— (円/ )	算出根拠		—			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	施設施工旅費	0	0				
	施設施工庁費	22	0	前年度限りの経費(展示製作詳細設計)			
	施設整備費	203	360	施設の建設に要する経費の増額			
	不動産購入費	3	0	前年度限りの経費(土地購入)			
	計	228	360				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、事業目的や重要性の観点から優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	当事者等の要望や意見の調整に不測の日数を要したことにより基本計画の策定が遅れたため。
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	少額随契であるが、適切に選定している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づく普及啓発及び名誉回復に必要な施設整備に係る経費に限定している。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する正しい知識の普及啓発及び名誉回復を図るためのものであり、実効性は高い。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・ハンセン病問題の解決の促進に関する法律によれば、国の隔離政策に起因してハンセン病の患者であった者等が受けた身体及び財産に係る被害その他社会生活全般にわたる被害の回復には、未解決の問題が多く残されているとされており、ハンセン病の患者であった者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、真摯に取り組むこととされている。</p> <p>・本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条の規程に基づく、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する知識の普及啓発及びハンセン病の患者であった方々の名誉回復を図るために必要な施設を整備するものであり、引き続き実施する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条」に基づき、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する正しい知識の普及啓発及び名誉回復に必要な措置を行うことを目的とし、「重監房再現・展示施設」を建設するための経費であり、23年度において不用額が生じているものの、事業の必要性の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	新23-015

厚生労働省  
1.2百万円

〔支出先の選定、事業者の指導監督等〕



【随意契約】

蜂須賀健夫土地家屋調査士事務所  
1百万円

〔土地の測量〕

事務費  
0.2百万円

〔旅費〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A. 蜂須賀健夫土地家屋調査士事務所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設施工庁費	土地の測量	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	蜂須賀健夫土地家屋調査士事務所	栗生楽泉園における重監房跡地の測量	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					